

しんりんかんだより

‘24 第7号 (vol. 91)

年主題

「さあ、漕ぎだそう奏でよう」

月主題 3Fやってみよう

2Fころはずませて、きょうかんする

2024年10月1日発行



「大きく輝く星」

悲しい出来事がありました。今もその悲しみから抜け出せずにいます。

「おはよう！」といつも朝一番に笑顔と元気パワーを届けてくれた、みはるちゃんが天に召されました。先のお泊り会で手巻きずしをお替りして満足そうな笑顔のみはるちゃん、ベランダ温泉の真ん中で「気持ちいい～」とほほ笑むみはるちゃん、夜の探検で先頭に立ってパンダの失くした物を探していました。一泊のお泊りを星組の仲間と乗り切って「今度はお泊り保育だね!!いつ行くの?」とワクワクの止まらない様子で期待に胸を膨らませていました。

「みーちゃんずっとお休みしているの・・・なんで?」子どもたちの質問に、直ぐには返す言葉が見つかりません。今週の礼拝で、廣田先生がタラントの話をして下さいました。誰もがひとりひとり神様から与えられたタラントを持っている。それをどう生かしたいかは、その人自身にかかっている。というお話です。今、私たちにできることは何なのか。それは、毎日変わらずに登園してくる子どもたちの笑顔を守ることしかありません。みはるちゃんの弟のふゆきちゃんも毎日変わらぬ笑顔で登園してくれています。大きな悲しみを乗り越えてご家族は前を向こうとしていらっしゃいます。

今、私たちにできることは何なのか、一人の力は小さいかもしれないけれど、一人より二人、更に二人より三人…一人でも多くの繋がりを作りながら生きていくことを子どもたちに伝えていきたいと思います。苦しいときも必ず仲間が共にいることを感じてほしいと思います。みはるちゃんは、ずっとここにいます。みんなの心の中にずっと生きています。これからもずっと…

(主任 鹿糠正美)